



カラス除けのテグスはり。葉が茂ってやりにくいけど急ぎよ実施 運搬車を新規購入！軽トラでは入れないぶどう棚にも入れます

あっという間の一年。2026年もよろしくお願ひいたします。

ぶどうの収穫が終わり、畑の片付けや冬の準備、道具の清掃などしていたら年を越してしまいました。みなさまはどんな日々をお過ごしでしょうか。カノハタでは昨年運搬車を一台導入し、この秋大活躍しました。たとえば写真の堆肥運搬。いままでは置き場から堆肥を軽トラに積み、畑の入口に軽トラを駐車し、そこから一輪車にスコップで積み替え、何度も運んでは撒くことをしていました。それが置き場から運搬車に積み、そのまま畑までいき、撒く場所まで一気にいけるのです。しかも一輪車に積める何倍の量を！それは若木にワラを敷いたり巻くときも、石灰や鶏糞を撒くときも同じで、作業時間が大幅に短縮されました。運搬車最高！

記憶に残るくだもの体験。

先日、山梨県のスキルアップ研修に参加し、私たちの事業というものをあらためて考える機会がありました。何のためにやっているのか、どこへ向かい、どんな価値観を持って行動しているのか。ぼんやりしていたことから、ひとまずかたちにすることができました。

舌の感覚、香りなど、味覚は刹那的。でもその体験は不思議と記憶に残ります。「大人になったとき、この子たちがくだものをたべたいと思う舌を育てるために」一生残る味覚の体験の一片に、私たちのくだものがなれるように。それとともに今までどおり「おいしいくだものをもっと身近に！」という目標をもってくだもの作りにはげみたいと思います。

いのちとむきあい、いのちをいただく。

もうひとつ。私たちは「いのちとむきあい、いのちを育てている」という価値観。

モモは蕾のとき実をつけるのに良い向きのもを残して蕾を落とします。花のときは実をつけるのにいい位置のもを残しそうでないものを落とします。ついた実は形のいいもを残してそうでないものは落とします。つねに選抜に選抜をかさねる一方、たくさん実をつけるよと剪定し、施肥し、受粉します。そして育てるのに必要ならば、くだもの以外のものも守り増やします。反対に害虫や侵入してくる動物なら駆除もします。私たちはつねに、謙虚に「いのちとむきあう」べきだと感じています。



いのちをムダなく...

毎年、実を育てるために剪定した枝、畑を守るために向き合った鹿の角。私たちは、それらを「農業の一部」として受け取り、かたちにすることにしました。いのちの循環を、暮らしの中で感じてもらうために。これらのプロダクトは、いのちをいただき、いのちと向きあいながら農業を続けていく私たちの姿勢そのものです。

くだもの枝ペン 自然の枝は、一本ずつ太さもかたちも違い、まっすぐなもの、ふくらみのあるものもあります。同じものは、ひとつとしてありません。枝の節や凹凸は、木が風や季節を受け止めてきた時間のしるし。書くたびに、くだものが育った畑や、自然の気配を思い出してもらえたらと思います。

獣害鹿のオブジェ くだものが「自然の中でつくられている」こと、そしてその裏には「目に見えにくい営みがある」ことを知ってもらうためにこのプロダクトを考えました。この販売によって得られた対価は、獣害対策や、自然と共に続けていく農業のために役立てていこうと思っています。

これらは、カノハタの直売所で順次取り扱っていく予定です。

そして家族は... 次男はいよいよこの春から中学生。小学校の6年間続けてきた陸上で、初めて表彰台に立つことが出来ました。走ることは遅くも早くもなく、別の種目をやってみようと思った投てき競技での1位でした。you tube見ながら練習したかいがあったね、母さんウルウルしちゃうよ。

長男が通う高校の吹奏楽部はコンクール以外にも地域のイベントに呼ばれては演奏しています。学校の鹿児島研修では屋久杉を見たり種子島宇宙センターを見学してきました。ギリギリのインフル明けでヒヤヒヤでしたが、いろいろ経験できてよかったね〜。そして、また園主幼なじみのふでこさんが描いてくれました！売店の看板です。今回は山梨まで来てくださり、即興で文字と絵を。文字は何と入れる？葡萄も入れようか。ツルがあるといいね、などと話をしながら描いてバランスを見てまた描く。あっという間の作業でした。これで迷わずお店がみつかります。ふでこさん、いつもありがとうございます！



長男は韮崎の街なかで演奏！



次男 県小学生大会で初めての表彰台



ふでこさん作の看板
下書きなしとは思えない〜